

新まちづくり計画（H16～18）追加補強事業総括調書（単位：千円）

予 算 事 業 名		芸術の森アーティスト2006事業費	
担 当		観光文化局文化部市民文化課 筒井 211-2261	
基 本 目 標		4	芸術・文化、スポーツを発信する街さっぽろ
重 点 戦 略 課 題		1	芸術・文化の薫る街の実現
施 策		1	多様な芸術・文化に親しみ、交流・発信する環境づくり
関 連 新 ま ち 計 画 事 業 名			
		予算額	決算額
事 業 費		21,000	21,000
財 源 内 訳	国・道支出金		
	市 債		
	そ の 他		
	一 般 財 源	21,000	21,000
事業実施(拡充)の背景・目的・考え方		事業内容(量・場所・規模等)	
平成17年度は、モエレ沼公園のグランドオープンを中心に、札幌の芸術文化を発信した。今後も札幌ならではの芸術文化を発信し続けるためには、札幌が既存資源として持つ芸術文化(ソフト、ハード)の充実を図り、都市の魅力を向上させるとともに、事業の内容を再構築し、より充実したプログラムを実施することによって、市民が芸術文化に親しむ環境や、札幌からアーティストが多数輩出される仕組みづくりを目指す必要がある。 そこで、芸術の森20周年を機に、これまでの取組みをベースとした事業の充実を図るとともに、新たな分野とのコラボレーションによって、芸術文化にふれるチャンネルの多様化を目指し、具体的事業を展開する。		<18年度> ①フィールドレストラン事業 芸術の森園内に特設レストランを設置、芸術の森／PMF／札幌の新たな魅力である“食”／さっぽろスイーツなどと連携し、アートと自然と食を満喫できる場として、楽しみ方を提案した。 ②サッポロ・シティ・ジャズ 芸術の森で実施している「サッポロ・ジャズ・フォレスト」をベースに、札幌で都市型ジャズフェスティバルを2007年から開催するプレイベントとして、市役所西側駐車場で無料ライブを行った。 ③ジュニア・ジャズスクール豪州演奏会 日豪交流年事業に参加、オーストラリア国シドニー市のオペラハウスでの演奏のほか、地元中学生との音楽交流等を行った。 ④札幌アートボックス2006事業 芸術の森野外ステージ前に約600席の特設スタンドを設置し、9／1～10／1までの毎週末に招聘公演と市民の公募による公演を実施した。	
評 価 (成 果)		課 題	
① サマーフォレストレストランの名称で実施。PMFと連携し、特設レストラン内でコンサートや指揮者によるトークイベントも開催した。来場者の満足度は高く、また、マスメディアでも多く紹介され、テレビでの現地中継が合計で1時間に及び、宣伝効果も高かった。 ② サッポロ・シティ・ジャズ構想を立上げ、無料ライブの開催により浸透を図った結果、構想実現のための実行委員会が立ち上がったほか、海外のフェスティバルとの事業提携の提案を受けた。 ③ 札幌ジュニア・ジャズ・スクールで活動する23名の中学生を派遣した。現地で高い評価を受け、次年度以降も交流を続けたいという申し入れにつながる結果となった。 ④ 野外ステージの新たな可能性を提案した。アーティストや観客から、独特の空間に対して高い評価を得た。		共通課題 20周年を契機としてスタートしたこれらの取り組みを、継続的に実施していく必要がある。	
19 年 度 以 降 の 方 向 性 ・ 事 業 の 予 定			
①レベルアップしたい事業 ●サッポロ・シティ・ジャズ 本格開催は平成19年度からとなるため、立ち上げの数年間は一定の支援が必要である。 また、札幌らしいジャズフェスティバルとして、海外ジャズフェスティバルとの提携事業の実施や、アートとジャズの融合・コラボレーションによる新たな芸術の創出等が想定されており、その実施による集客を図るため、よりレベルアップした内容で開催する必要がある。 さらに、市民ボランティアが多数参加することとなるため、ボランティアに対するサポートも必要である。 ②平成19年度に予定される事業内容 ●サッポロ・シティ・ジャズ(本格開催) ●札幌アートボックス(財団法人 地域創造から、平成18年度～20年度にわたる3か年の助成金が決定されている。※補助率2分の1)			